



長期滞在型・ロングステイ観光学会

NEWS LETTER

2016年度 第1号 (創刊号)

2016年6月10日発行 通巻第1号

編集人・発行人：野口洋平

noguchi@ks.kyorin-u.ac.jp

(理事会幹事・杏林大学外国語学部)

【設立総会報告】

2016年3月18日(金)に、本学会の設立総会が行われました。本学会は、国内および国外における長期滞在型観光に関する学術研究の向上、普及・促進に必要な条件整備を産官学合同で取組み、地域共生、国際親善等、社会に対して普及促進をはかることを目的としております。

会員の皆さまには、学会の発展のためにさらなるお力添えを賜いますよう、改めてお願い申し上げます。

(開催概要)

開催日：2016年3月18日(金曜日)

会場：帝京大学霞が関キャンパス
東京都千代田区平河町

2-16-1 平河町森タワー9階

【設立記念基調講演会・

シンポジウム報告】

上記の設立総会に続いて、「設立記念講演会・シンポジウム」が行われました。

基調講演会は、初代観光庁長官で、東京工業大学特任教授・首都大学東

京特任教授の本保芳明氏を講師に迎え、「なぜ今、観光イノベーションが必要なのか」をテーマにお話しいただきました。ご講演の中では、日本を真の観光立国に磨き上げるには、訪日外国人旅行の推進だけではなく、「短期型滞在から長期型滞在へ」、「短期旅行から長期旅行へ」といった日本人の観光スタイルの変革が必要であり、インフラの整備や効果効用など、イノベーションが必要であり、そのひとつが長期滞在であるなど、示唆に富んだ貴重な提言が多数ありました。



設立記念シンポジウムは、モデレーターとして舩山龍二氏((株)ジェイティービー相談役、(一財)ロングステイ財団会長)、パネリストとして大野悦子氏(NPO法人南国暮らしの会会長)、神野直彦氏(東京大学名誉教授スローライフ学会会長)、徳永誠氏(マレーシア政府観光局マーケティングマネージャー)、政所利子氏((株)玄代表取締役、地域活性化伝道師)を迎え、「わが国のライフスタイルの転換ー滞在型旅行の必要性を問うー」をテーマに活発な議論が展開されました。シンポジウムの中では、長期滞在の必要性を、経済学や生活スタイルの多様性、現在進められている地方創生のモデル事例、ロングステイ人気国9年連続1位(※本ニューズレター発行時10年連続1位)を誇るマレーシアの環境づくりや実状、滞在型旅行を実際に国内、海外問わず実践されている方のライフスタイルなどが紹介され、わが国における滞在型旅行の必要性、これからの課題や滞在型旅行がもたらす

効果効用など、豊富な事例に基づいた具体的な議論が交わされました。



【「分科会」募集について】

長期滞在型・ロングステイ学会では、国内及び国外における長期滞在型観光に関する学術研究の向上と社会に対して広くロングステイの普及促進を図るため活動の分析・把握を目的として、研究グループを組織して活動する分科会を募集します。

長期滞在型観光・ロングステイにかかわる様々なテーマが設定可能で、希望する分科会には審査のうえ研究助成金が交付されます。また助成金がない場合でも、学会が公認する研究グループとして分科会名を使用いただけます。採択された分科会名はホームページなどで会員に告知し、テーマに興味のある会員が、分科会が開催する勉強会や研究会に参加し、会員間の交流の場となることが期待されます。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

公募期間：2016年6月15日(必着)

問い合わせ先

長期滞在型・ロングステイ観光学会
事務局 分科会助成金担当

society@asjlt.jp、info@asjlt.jp

※ 詳細は、会員MLで配布済みの資料、または学会ウェブサイト(<http://www.asjlt.jp/>)をご覧ください。

【理事会報告】

2016年度 第1回理事会／2016年5月14日(土) 14:00～16:00／(一財)ロングステイ財団 ミーティングスペース／出席者:岡本伸之会長、安島博幸副会長、旭岡叡峻、泉正史、篠崎宏、柵木鬼美夫、山田美鈴、弓野克彦(以上理事)、大下茂、神末武彦(以上監事)、金振暁、鈴木涼太郎、古本泰之、野口洋平、花井友美(以上幹事)、佐藤博之(一般財団法人ロングステイ財団)／欠席者:5名(委任状5通)

- ・ 議事に先だって、岡本会長より開会の挨拶がありました。
 - ・ 各理事の自己紹介が行われました。
1. 全国大会開催及び運営について
 - ・ 資料1(長期滞在型・ロングステイ観光学会 全国大会開催案)に基づき、全国大会の開催及び運営案について、金幹事が説明しました。このあと、同審議事項について、質疑応答、意見が出されました。
 - ・ 日程、プログラムの構成、発表原稿の執筆要項、学生の参加について検討されました。
 2. 分科会運営について
 - ・ 資料2(長期滞在型・ロングステイ観光学会 分科会運営案)に基づき、分科会の運営案について、金幹事が説明しました。このあと、同審議事項について、質疑応答、意見が出されました。
 - ・ 分科会のテーマ案、分科会の形態、審査基準について検討されました。
 3. 平成28年度予算案について
 - ・ 資料3(2016年度予算書案)に基づき、2016年度予算について金幹事が説明しました。同審議事項について、質疑応答、意見が出されました。
 - ・ ロングステイ学会からの借入金(906,054円)については、

4年計画での返済を予定しています。

- ・ 補足資料1(2016年3月18日(金)長期滞在型・ロングステイ観光学会設立イベント清算書)および補足資料2(2016年度予算書(案))について、ロングステイ財団佐藤氏が説明しました。
 - ・ 岡本学会長より、ロングステイ財団からの借入金を速やかに返すため、会員や賛助会員の増強について協力・支援の依頼がありました。
 - ・ 全国大会の予算、機関誌の発行、学会員への情報発信について検討されました。
4. その他
 - ・ 弓野理事より、2016年3月18日の設立総会シンポジウムの録画の使用について提案があり、活用していくことが承認されました。
 - ・ 弓野理事より、ロングステイ調査統計の紹介がありました。
 - ・ 次回理事会は、2016年6月18日(土) 15:00～17:00に(一財)ロングステイ財団 ミーティングスペースにて開催予定です。
- (以上)

【事務局より】

本学会では新規会員を募集しています。お近くに関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

本学会に入会するためには、所定の入会申込用紙を送付して頂いた上で、理事会で承認された後に入会登録手続きを行います。入会の通知は、許可後に郵送にてお送りいたします。入会希望者は、下記要領をよくお読みの上、入会申込書を下記事務局まで郵送して下さい。

「入会のご案内」

<http://www.asjlt.jp/entry/entryinfo>

■入会について■

一般財団法人 ロングステイ財団
〒105-0001 東京都港区虎ノ門
1-12-1 虎ノ門第一法規ビル7階
電話 03-3591-8144
FAX 03-3591-8166
メール info@asjlt.jp

■入会後の研究課題、全国大会発表についてのお問い合わせ■

帝京大学 経済学部観光経営学科
金研究室
〒192-0395
東京都八王子市大塚 359 番地
電話 042-678-3363
メール society@asjlt.jp

【編集人・発行人より】

長期滞在型・ロングステイ観光学会のニューズレター(会報)では、会員の皆さんからの情報を募集しております。

学会の目的に合った情報、会員のあいだで共有すべき情報などをお寄せいただきたいと思います(掲載の可否は理事会で決定します)。

編集人・発行人:野口洋平
(杏林大学外国語学部 准教授)

〒181-8612
東京都三鷹市下連雀 5-4-1
杏林大学外国語学部
電話 0422-47-8000(代表)
FAX 0422-47-8077(共用)
メール noguchi@ks.kyorin-u.ac.jp

■